

「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書

住民説明会及び意見交換会

第6回 開催報告

議事概要

対象地域：伏古本町連合町内会のうち札幌新道以北
の地域

開催日時：平成30年10月30日（火）19：00～20：30

開催場所：ふしこ地区センター2階集会室（東区伏古11条3丁目1-15）

参加者数：市民17名（地域の方7名、地域以外の方10名）、
札幌市（事務局）3名、北海道（オブザーバー）1名、
道銀地域総合研究所（事務局）4名 計25名



1. 開会挨拶

（札幌市より挨拶）

2. 出席者の紹介

（事務局紹介）

3. 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書の説明

（札幌市より説明）

4. 意見交換

<地域の方より>

○ご意見

【利活用策について】

- ・利便性を良くするのなら羽田に飛ばすのが一番良い。以前のような利用者数になるのではないか。
- ・丘珠空港はどんどん利便性を良くするべき。滑走路はできるだけ大きくして、最低でも150～160人乗りの中型ジェットを利用可能にするべきだ。200万都市の空港としては利用度が少な過ぎる。地下鉄は丘珠空港の下まで延ばさないと、札幌ドームと同じことになってしまう。もう少し積極的に、どういう利便性があるかをPRするべき。
- ・一番の問題はアクセスで、地下鉄を丘珠空港まで延ばせば活性化するのではないか。

- ・新幹線、高速道路、人口減少等を考えたら、現状のままで特に問題ないのではないかと滑走路延長ありきではなく、現状でどのように使っていくか検討すべき

【空港周辺の環境について】

- ・周辺の住民が一番気になるのが生活環境の悪化。航路直下のお宅では騒音がして辛いと聞いている。便利なこともあれば、課題もあると思うが、直下の住民の意見をきちんと聞くべきであり、住民の生活環境が一番大事である。
- ・航空機の騒音はあまり感じず、ヘリコプターが2～3機で編隊で飛ぶときはかなりうるさく、飛行機と混同される可能性はある。
- ・飛行機は2～3分で離発着するが、ヘリコプターは何10分間も飛んでおり、ヘリの方がうるさい。ただし、自衛隊の編隊飛行についてであり、医療や防災のヘリコプターはどんどん活用していただきたい。
- ・騒音の説明について、札幌新道の道路騒音と比較すると、一般の人がわかりやすいのではないかと。飛行機は一過性のものなので、新道の方がうるさいのではないかと。
- ・ヘリコプターは本当にうるさいが飛行機は我慢できる。我慢できない人に対しては防音対策を行えばいい。
- ・滑走路が延びると心配なのは、戦闘機のようなものが多く飛んでくるのではないかとということ。

【本説明会の運営について】

- ・利便性についてとてもよくわかった。

○ご質問

【利活用の検討の進め方について】

- ・地域への影響を考えると、この30年で、学校や保育園、幼稚園が空港の周辺にどのくらい増え、人口がどのくらい増えているかを調査することも必要だ。
- (回答) 人口について手元に資料がないため正確な数値はないが、確かに以前に比べ住宅の数が多くなったという印象がある。

【利活用策について】

- ・滑走路は最大どのくらいまで延ばせるのか。
- (回答) 滑走路延伸の案としては、道内便が飛べると考えた場合の1,800mと2,000mを考えており、それ以上は今のところ検討していない。

【空港周辺の環境について】

- ・騒音調査の数値はトータルして24時間で割っているという話を聞いたが、飛行していない時間も含めて平均にすれば、当然ながら騒音は小さくなる。
- (回答) 騒音の評価はLdenという考え方で、24時間でみると、朝7時から19時を騒音1とし、夜間等は傾斜をかけて数値を算出している。平均をとって騒音基準と考えるのが国全体の考え方になり、社会一般通念上の環境基準である。

- ・騒音基準値の 57dB と 62dB の違いは何か。
(回答) 地域による違いであり、Ⅰ類は専ら住居の用に供される地域で、Ⅱ類はⅠ類以外の地域だが通常の生活を保全する必要がある地域となっており、基準値はⅠ類は57dB以下、Ⅱ類は62dB以下となっている。

【本説明会の運営について】

- ・パンフレット内の医療を支える空港としての役割に関するアンケートについて、いつ、何人ぐらいの集計なのか。
(回答) アンケートは、一昨年に 300 人ほど、数日間にわたって、搭乗者を対象にお答えいただいた。

【その他】

- ・民間空港と防衛省の共用空港とのことだが、新千歳空港はどうなのか。
(回答) 新千歳空港は、以前は千歳空港といって共用空港であり、現在の自衛隊側に空港があった。現在は新千歳空港になり、自衛隊の空港と民間の空港は分かれた。
- ・発着料金はどこの収入となるのか。
(回答) 発着料は、民間航空機に関しては国土交通省の収入となる。

<地域以外の方より>

○ご意見

【利活用の検討の進め方について】

- ・なぜ検討会議や説明会が必要なのか。20年前の住民合意に不都合があり、延長したいのか。利活用というが、丘珠空港への市民の関心はなく、利用も少ない。延長ありき、増便ありきだといわざるを得ない。
- ・利活用の話が今改めて出てきて、延長したいということか。しっかり市民の声を聞いていただきたい。

【空港周辺の環境について】

- ・瞬間の音が本当に耐え難く、心臓に響いてくるくらいひどい。一日に何回かあり、病弱な人が受ける影響は、健康で生活している人とは違うと思う。
- ・ヘリコプターの編隊飛行のときは、小さい子が寝てられないぐらいの音がある。
- ・騒音調査の内容について、今後に向けて誰にでもわかる資料を整備していただきたい。

【整備に関わる費用について】

- ・滑走路延伸や空港の除雪機の更新等に費用をかけるのなら、道路除雪や認可保育園の増設、災害対策、福祉等にお金を使ってほしい。

○ご質問

【空港周辺の環境について】

- ・騒音調査は、札幌市のホームページにその都度公表されているのか。公表されていないのであれば、今後公表していくのか。公表をされていない場合、どこに行けば資料をいただけるのか。

(回答) 昨年度の結果については丘珠空港ニュースで町内に回覧しているが、例えば最大値等は、特に公表はしていない。

- ・公表していない分は、なぜ公表していないのか。

(回答) とても細かいデータなので公表していない。一般の方がわかりやすい形で公表分としてまとめている。

- ・環境基準の疑問を解消し、地域住民としてももう少し勉強をする必要があるため、騒音測定データの詳細な資料をいただけるか。

(回答) 公文書として所有している資料は対応できる。

5. 閉会

以上